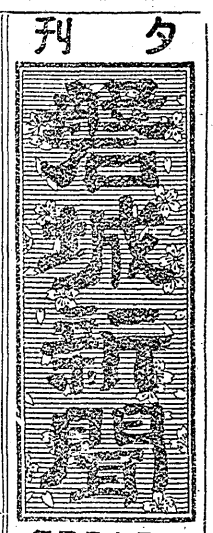
夕刊



八月九日發行

定價（郵税共）一部金六拾五錢　一ヶ月金五拾錢
廣告料金　一段一行金拾錢　二段一行金拾五錢　三段一行金二十錢
（日曜祭日翌日休刊）
発行所　磐城新聞社
印刷人　木村
印刷所　磐城新聞社
福島縣磐城郡平町十六字地蔵堂
電話五六四番

六號記事（七）

――白井遠平翁入黨の事――

白木英尾

白井遠平翁が歿してからはこれから郷里の方をまと何年になるだらう。高岡唯一郎氏が墓參の歸途、社會の激しい有爲轉變について泌々と感慨をもらしたことがあつた。その高岡氏も今ら廣島屋へ出かけるとは、は鬼籍に入つて今年は新盆を迎へるのである。盆近くなると何彼とこれらの人々に就いて思ひ出すことが多い、往時を追懐する古老にも秋風いとゞ寂しきものがあるだらう。

明治四十四年、遠平翁が『海に小名濱の築港、陸に平郡線の速成』を聲明して政友會に入黨したが、之は當時にあつて石城政界劃期的の一大政變であつた。殊に、地方に居て何も知らない翁の一族郎黨は愕然とした。この時の種々の動きについては巷間よく傳へられてゐる。招電によつて駒込の翁の自邸へ馳けつけた中野忠次（今の浩忠氏）が『一体どうしたわけだ』と翁を詰問したことも有名な話である。

當時、神田の廣島屋に居た柏原左源太から『少年時代からの親交を以て、今再び兄と握手するならば、縣民の福、郡民の利、兄よ深く考へられたし』と入黨を勸告されて、その翌朝、遠平翁は左源太の來邸を待たず、自ら廣島屋に赴いた。双方に機は熟してゐたとは言へ、お互ひに『君、よく言つて呉れた』の一言できまつた。これは石城政友が今日の大をなした歴史的シーンと言ふべしろ。

『かういふ譯だから、お前と雖も未だ志に甚かざるものあらず、志立たざれば能なき舟、衝無き馬の如し、漂蕩奔逸何ぞ底る處あらむや……（王陽明）』

と親分の爲めに悔んだとなると何彼とこれらの人々に就いて思ひ出すことが多い、往時を追懐する古老にも秋風いとゞ寂しきものがあるだらう。

と親分遠平翁から言はれて中野氏は憤然とした。『年長でありながら此方かは鬼籍へ出かけるとは、何たる不見識』

と親分の爲めに悔んだとなると何彼とこれらの人々に就いて思ひ出すことが多い、往時を追懐する古老にも秋風いとゞ寂しきものがあるだらう。

明治四十四年、遠平翁が『海に小名濱の築港、陸に平郡線の速成』を聲明して政友會に入黨したが、之は當時にあつて石城政界劃期的の一大政變であつた。殊に、地方に居て何も知らない翁の一族郎黨は愕然とした。この時の種々の動きについては巷間よく傳へられてゐる。招電によつて駒込の翁の自邸へ馳けつけた中野忠次（今の浩忠氏）が『一体どうしたわけだ』と翁を詰問したことも有名な話である。

時代警語

○志立たざれば天下成るべき事無し、百工技藝と雖も未だ志に甚かざるものあらず、志立たざれば能なき舟、衝無き馬の如し、漂蕩奔逸何ぞ底る處あらむや……（王陽明）

短歌

磯上六花

引潮に引きのこされし荒磯の岩間め水に小魚浮くなり
くれなゐの色をのこして涯しなき大海原に日は沈みけり
畦道のところ〳〵に若草のはや萌えそめて春は來にけり
別れ來し君が昨の淚みし色に似たりと思ひ今日も空みる
かげろうのもえたつ野邊をゆるやかにみ寺の鐘の流れわたるも
たそがれの秋はたゞさい寂しきに親しき友の今日ぞ旅立つ

詩南社の詩其の他（3）

美澤光夫

次にプロレタリヤ詩に移る、この詩の批判は既成批評家の如く自己を高きに置て、單に人物の動きばかりでなく一脈の思想の流れをなすのと譯は違ふ。我々の批判は常に發展の批判であるから、そして又自身が認めた誤謬を人に知らせる必要もないと思ふから。尚ほ嚴密に言ふならば唐木君と僕の犯かしつゝある變行は五十歩百歩であるから。

歸郷して　唐木登志

この詩は、詩南車の今度の最大なる收獲と言ふべき作品である。恐らくブルジョア的批評より言つても相等に評價されて良いかも知れない（リベラリズムの立場から）だが、半面大きな誤謬を犯して來て居ようである。この詩はこの誤謬を克服する事なしに文化闘爭に於ける、立後れを克服する事は出來ない。

働く者の正義を叫び。勞働を盗む者の不正と闘爭し被壓迫大衆の開放の爲に闘つて來た俺に、この作品の書出しはこうである、プロレタリヤ詩は、勞農大衆のたんですよ』

と乳母から腋の下を擽られて

『知らないよ』

と逃げ出した

すると呉服屋が見えた、小間物屋も呼ばれた、母からいろ〳〵の注文をした。自分は聞いて聞かない振りをしてゐた、翌日澤山の反物や頭の物を背負ひ込んで來た、母は其の中からあの、それが格之助に對しての不滿であるらしく、お柳の耳に洩れ聞えた。

翌朝早く三好屋へ行くといつて出かけた、大分ゆつくりして甚過ぎに戻つて來た、そうしてお柳に向つて

『明日は梅屋敷で歌會の催しがある、お前も出席して腰折の一つも詠むがよい。當家からは格之助も行くし三好屋の隠居も來る筈だか

の詩と、唐木君の詩である車的役割を持つものである。『働く者の正義』はブルジョアジーも叫んでゐる。唯働者の正義を叫び、如何に勞働者の正義を叫び、如何に今後に於ける彼の發展に對して深い注意を持つものである。彼の詩は割合に良く出來て居る。在來の批評者確なる描寫がなければならに言はしめれば詩は自分のぬ。實際的な生々しい手法思想を自主的に表現すればで、表現されねばならぬ。良いのかも知れないが、プロレタリヤ詩は勞働者農民被壓迫大衆の闘爭の血となり肉とならねばならない。それ故に現段階に於ける政治的、經濟的方面に於ける國際的な、國内的な、分析等歴史的科學的な成果に立つてなされなければならない。然してプロレタリヤ文學運動は目的意識的活動の發展性を強調せねばならぬ

處で今度載つた詩南車の詩の中で、プロレタリヤ詩は唐木君と、僕のと大体二つの樣であるが、其の中僕の詩は僕自身が批評する事は二重の誤謬を犯す恐があるから、そして又自身が認めた誤謬を人に知らせる必要もないと思ふから。尚ほ嚴密に言ふならば唐木君と僕の犯かしつゝある變行は五十歩百歩であるから。

歸郷して　唐木登志

この詩は、詩南車の今度の最大なる收獲と言ふべき作品である。恐らくブルジョア的批評より言つても相等に評價されて良いかも知れない（リベラリズムの立場から）だが、半面大きな誤謬を犯して來て居ようである。この詩はこの誤謬を克服する事なしに文化闘爭に於ける、立後れを克服する事は出來ない。

働く者の正義を叫び。勞働を盗む者の不正と闘爭し被壓迫大衆の開放の爲に闘つて來た俺に、この作品の書出しはこうである、プロレタリヤ詩は、勞農大衆のたんですよ』

と乳母から腋の下を擽られて

『知らないよ』

と逃げ出した

すると呉服屋が見えた、小間物屋も呼ばれた、母からいろ〳〵の注文をした。自分は聞いて聞かない振りをしてゐた、翌日澤山の反物や頭の物を背負ひ込んで來た、母は其の中からあの、それが格之助に對しての不滿であるらしく、お柳の耳に洩れ聞えた。

翌朝早く三好屋へ行くといつて出かけた、大分ゆつくりして甚過ぎに戻つて來た、そうしてお柳に向つて

『明日は梅屋敷で歌會の催しがある、お前も出席して腰折の一つも詠むがよい。當家からは格之助も行くし三好屋の隠居も來る筈だか

のと思はねばならぬ、そしてねばならない。だから我々は本紙で島田君をやつつけるつもりで書いた、浦島君の新らしい動向を知る前に私達は過去の足跡を研討しておくべきでなかろうか。既成人物が清算されないうちは、第二の酒井文雄が出ない。人物的に行詰きることは郷國にとつて百世の痛痕事である。（終り）

味過ぎますから外のと取替へて下さいましな』

と口が辷る、それが母か

と言つた

お柳はどちらかと言へば教育不十分な方であつた。でも性來文學染みた事が好きで三好屋の世話になつてゐる間に隠居揚齋から聞きかぢりに發句や歌を詠むことを覺えた。

そうして折に觸れては何かこちつける、固より下手の横好き、人に見せられるものではないと思つた。其處に侮り難き天才の閃めきがあつたのを自ら悟り得ぬまでに我が技を卑めてゐた

と云ふ、大なる存在に傷をつける樣な馬鹿氣た事はしたくないから。

今度の詩の中で純然たるノロキと目せらるるのは僕

拈華微笑

晴れの青年闘体育大會切迫。

◇

オリムピックちやないがメーンマストに飜るは何處の團旗ぞ

◇

實習希望の兒童すら貰れぬ。仕着せ賄付きの見付からぬ道理

◇

容瓶で飴を賣る不況が產んだ奇想天外珍商賣

◇

立秋二日目、氣溫九十二度

○……○

鹽方へ見えた、今度は三日許り逗留するといふ觸込みであつた。

其の晩、大鹽の前へ格之助を呼出して三人で何事か話しをした

出雲は如何したのか、いつにない肝高い聲を張り上げて激論でもする樣であつた、それが格之助に對しての不滿であるらしく、お柳の耳に洩れ聞えた。

翌朝早く三好屋へ行くといつて出かけた、大分ゆつくりして甚過ぎに戻つて來た、そうしてお柳に向つて

『明日は梅屋敷で歌會の催しがある、お前も出席して腰折の一つも詠むがよい。當家からは格之助も行くし三好屋の隠居も來る筈だか

と言つた

お柳はどちらかと言へば教育不十分な方であつた。でも性來文學染みた事が好きで三好屋の世話になつてゐる間に隠居揚齋から聞きかぢりに發句や歌を詠むことを覺えた。

そうして折に觸れては何かこちつける、固より下手の横好き、人に見せられるものではないと思つた。其處に侮り難き天才の閃めきがあつたのを自ら悟り得ぬまでに我が技を卑めてゐた

……十日…〔水曜〕…

仙臺　JOIK　ラヂオ體操

△井原西鶴歿す（元禄六）△河鰭山噴火（嘉永三）△黄海大海戰（明治三七）△郵便年金令公布（大正一五）△九州再び風水害大島の最大風速五十七米（昭和五）△兩私鐵疑獄事件控訴判決小橋前文相無罪、佐竹三吾氏懲役六月、△湯地幸平氏逝く（同六）

8月10日

〔社會の今日〕

○

お堀ばたの夏の柳のもつれ髮くしげつらうと來たか颱風

日下部あや子

裏道を風船賣りのあとつきて幼き子等のさわぎ行くなり

影近　澄子

△前六、〇〇A　氣象
△九、一〇　料理献立（根芋の胡麻酢）中曾根うめ子
日用品値段
△一〇、三〇A　家庭講座（お米の話）佐々木信藏
△正午A　時報
△〇、〇〇A　オリムピック大會狀況（米國NBCロサンゼルス放送局より中繼）
△後一、〇〇A　ニュース氣象
△一、三〇　六、〇〇A　運動競技（東日、大毎　第六回全國都市對抗野球大會狀況）
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇　ニュース
△六、〇〇A　（子供の時間）少年運動講座（水泳の手ほどき）京田武男
△六、二〇A　コドモの新聞
△六、二五A　カレント、トピックス　ニュートン、エドガース
△六、三〇N　山と海の講座（日本アルプス）八木貞助
△七、〇〇A　ニュース　氣象　生繭相場
△七、三〇　趣味講演（捕鯨の話）志野德助
△八、〇〇A　管絃樂　コロナ、オーケストラ
△八、三〇A　常磐津（千代の友鶴）常磐津和佐太夫　綾瀬太夫　和喜太夫
△九、〇〇A　連續漫談（珍釋西遊記「終」）孫悟空の第三報告）古川綠波
△九、三〇A　時報　ニュース　氣象　生繭相場

亡父龜太郎新盆に相當り候も神葬の爲め新盆相營はず候間乍勝手贈物等御辭退申上候　敬白
平町五丁目　佐々木榮一

亡喜代儀新盆に相當候處時節柄佛前供物ハ一切御辭退可申上候に付不惡御了承相成度候　敬具
平町新田町　吉野家　清野音吉

金融と債券賣買
株式公社債、勸業、復興債券賣買
生命保險金立替並に買入恩給年金立替
株式債券擔保はドンナボロ株でも三錢以下で金融致します。
長橋町四七　正木株式店

故高岡唯一郎
故伊藤芳吉
故山崎忠治
右新盆に相當り候處時節柄提灯其他供物等一切辭退致度候に付此段謹告候也
八月九日
山崎吉平
伊藤淺之助
高岡文夫

舊盆も差迫りました。例年通り佛壇、位牌、佛具類其他各種澤山取揃へ申し置きました。御入用の品は特別廉價にて販賣致します。是非御用命の程を御願致します。
平町二丁目　平庶民金庫東隣り　桝屋タンス店　鈴木民治　電話一三二番

潰金銀、古時計、鎖、古金、外國金貨
高價買入
今が賣り時期御一報次第出張御相談仕ります。
東京㊫商會出張所
平驛前通り　星野時計店方（呼出）電話五九九

柳川　一人前　金二十五錢ヨリ
うな井　金三十五錢
蒲燒　金五十錢
右大々勉强出前迅速
大鳥養蒲燒料理司詰　仕出し部
田町　魚榮　電話四二四番

故源五郎儀新盆に相當候處時節柄佛前供物提灯は一切御辭退可申上候に付不惡御了承被下度候　敬具
月見町　佐藤源吉

難波醫院
内科一般
醫學博士　難波睦
平町大町新川端（電話五〇二番）

吉田眼科病院
平町紺屋町

漆器は高尚優美、重寶な器物大暴落の最低値段時代
御中元の御贈答に
共の漆器を！
共は漆器專門店にて在庫品各種豊富に取揃へ破格の大勉强を致します。
是非一度御照會を　各國產漆器專門卸小賣
共榮漆器店　平町三丁目北裏（元郵便局裏通）

御贈答用品の御用命は
正中野洋品店
平二（電53番）
●（ボイル、麻、絹、縮）シャツ、ジバン類
●ワイシャツとネクタイ、靴下類
●敷布、タオル、ハンカチーフ●お寢着各種
●袋物ハンドバック（ボイル、レース）御袖とスカート
●有名石鹼と化粧品詰合　●たばこ各種
●商品券、その他お体裁よく見斗ひ致します。

當日の制覇を目指して
各選手炎天下の猛練習
參加豫想三十組四百餘名
第九回郡聯合青年團体育大會迫る

來る廿一日磐中に開催される第九回郡聯合青年團体育大會は剩す處僅かに十日餘の目睫に迫つたので各分團では連日炎天下の猛練習を積み當日の覇權を覗つてゐるが何しろ三十組四百名近くの參加を豫想されてゐる大會とて役員を左の如く決定し諸般の遺漏無きを期する事となつた、申込は十五日締切で既に小川、渡邊泉各村から申込があつた

種目

△陸上競技　百米、二百米、四百米、千五百米、一萬米、走高跳、走巾跳、砲丸投、八百米繼走

△武道　柔道、劍道、相撲

(總務)西山直三郎、大河原茂平、大森勇、三森虎雄(來賓)齋藤榮一、會我直治、山崎宣吉、津田達造、藤田榮助、多田井笑次郎、菊地正一、鈴木佐四郎、鈴木佐忠(受付)紺野勝治、神谷市郎、鈴木富三平、長瀨彦義(救護)大森勇(庶務會計)松本忠人、紺野勝治、鈴木康(陸上競技部競技係長、審判長)小野寛美、(指揮)小松武勇　一、トラック主任—大橋秀冬、出發合圖—國分午良、決勝審判—佐藤信義、木田谷平、小林正毅、渡邊啓二、井上佳都美　計時—渡邊恒夫、高木愛次、熊谷保高　記錄—門馬猛監察—櫻井榮次、矢代常好、小林清海、横田瀧藏新家芳美　二、フキールド主任—永島磯惣太　跳投審判—田子泰作、野原忠見　記錄—林又左工衛三、召集—瓜田壽、草野光司、外磐中生若干　四通告—水竹仁、外磐中生若干(劍道部)部長—庄司政之、審判係長—十二所常衛　係—藁谷久太郎(柔道部)部長—橋本芳太郎　審判長—高清水勇助係—鈴木寅之丞(相撲部)部長審判係長—青天目源一郎　係—小菅榮之助　以上

磐中野球部双葉へ
けふ濱三郡中學の會戰

磐中野球部では今九日午前野は全て新人になる筈で此五時出發、双中に開催される程の東北豫選で強豪遠野と相、双、磐、三チームの爭覇戰に出場したが同校では四年生以下バッテリー杉浦、阿部を立て來年度の大待されてゐる同チーム中杉浦投手の來年の活躍は頗る期會に備へる新陣容を整へ外接戰して以來著しき進境を見せてゐる

意外に賣れない夏季の實習兒童
希望五十名中僅に十四名

平町職業紹介所では夏期休暇中を利用し今九日から兒童をして希望職業を實習せしめ同時に職業の性質を理解せしむると共に求人者をして兒童の才能を認めさせ明春四月の就職緩和に資すべく過般平校をはじめ連絡十四小學校から募つた五十餘名の希望兒童に對し夫々適當の住み口を開拓すべく努力したが各商店では何れも從來の店員すら持て餘し氣味の折柄なると求人側には僅々一週間の短期間に於て其の概念的智識をさへ得られぬ所謂特殊技能を必要とする向もあり彼此實際上の賣れ口は

呉服店二、菓子一、下駄職一、指物商一、外鐵工見學九名

でここにも景氣の停頓が明かに看取されるものがある因に右計劃に對しては一週間後兒童の感想及び雇主から見た兒童の勤務狀態等を取纏め大に向後の參考に資する筈である

若松騎兵中佐
大佐に進級榮轉

今次の日支事變で滿蒙の野に勇名を馳せた本郡赤井村出身騎兵中佐若松晴司氏は今回の陸軍進級大異動により大佐に進級騎兵第二聯隊長から騎兵學校教導隊長に榮轉した

東北最初の晝夜銀行
前七七平支店長
山田宮銀專務其後の活躍

前七十七銀行平支店長山田勇太郎氏が入つて專務取締役に就任した仙臺市宮城銀行では既報の通り愈々來十二日より東一番町田張所を増設開業する事となつたが同所は東北最初の晝夜銀行として午後八時迄業務を取扱ひ尚ほ小口金融殊に俸給生活者に對する小口信用月賦償還の金融を取扱ふと

安價に名映畫を
無理なフアンの註文に
活動常設經營者の惱み

娯樂界の王座を占むる映畫館去月中の入場者人員を聞くと一萬九千九百二十三人で不景氣の割合には案外の入りを見せてゐるが好況時代に比較してはテンでお話らしく附近の叢に厭世的なる遺書二通あつた、尚之が爲め同列車は約十分間遲延したと

(平館)大人八千九百八十八人、小人千百七十一人計一萬百五十九人(世界館)大人八千六百九十一人、小人千七十三人、計九千七百六十四名(合計)者は相當頭を痛めて居る

舊盆前の要救濟者
五十戸二百六十名
平共濟會で調査

平共濟會では今年も亦舊盆前の極貧者を救濟する事となり町會議事堂で詳細な打合なり既に役場吏員と協力調査を行ふ事となつたが大体

五十戸二百六十餘名に達する見込であると

助成會でも
救濟の打合會

平町助成會も同樣貧困五十戸約二百名に對し給與すべく同日午前九時から會議室に於て委員會を開催し同瀾會の引繼白七十圓を承認し惠與物に就て種々打合せをなすと

平町のトラック
旅先で聾婆を轢く
徐行中を立ち塞がれて

平町四丁目鈴木與一方自動車運轉手文間勇が七日午前九時十五分頃トラックを運轉茨城縣那珂郡佐野村大字高野地内を疾走中同所助川二、井上佳都美　計時—渡邊恒夫、高木愛次、熊谷保高　記錄—門馬猛監察—櫻井榮次、矢代常好、小林清海、横田瀧藏新家芳美　二、フキールド主任—永島磯惣太　跳投審判—田子泰作、野原忠見　記錄—林又左工衛三、召集—瓜田壽、草野光司、外磐中生若干　四通告—水竹仁、外磐中生若干(劍道部)部長—庄司政之、審判係長—十二所常衛　係—藁谷久太郎(柔道部)部長—橋本芳太郎　審判長—高清水勇助係—鈴木寅之丞(相撲部)部長審判係長—青天目源一郎　係—小菅榮之助　以上

の右側を徐行せんとした際因に右計劃に對しては一週間後兒童の感想及び雇主から見た兒童の勤務狀態等を取纏め大に向後の參考に資する筈である

若松騎兵中佐
大佐に進級榮轉

今次の日支事變で滿蒙の野に勇名を馳せた本郡赤井村出身騎兵中佐若松晴司氏は今回の陸軍進級大異動により大佐に進級騎兵第二聯隊長から騎兵學校教導隊長に榮轉した

東北最初の晝夜銀行
前七七平支店長
山田宮銀專務其後の活躍

前七十七銀行平支店長山田勇太郎氏が入つて專務取締役に就任した仙臺市宮城銀行では既報の通り愈々來十二日より東一番町田張所を増設開業する事となつたが同所は東北最初の晝夜銀行として午後八時迄業務を取扱ひ尚ほ小口金融殊に俸給生活者に對する小口信用月賦償還の金融を取扱ふと

安價に名映畫を
無理なフアンの註文に
活動常設經營者の惱み

娯樂界の王座を占むる映畫館去月中の入場者人員を聞くと一萬九千九百二十三人で不景氣の割合には案外の入りを見せてゐるが好況時代に比較してはテンでお話らしく附近の叢に厭世的なる遺書二通あつた、尚之が爲め同列車は約十分間遲延したと

(平館)大人八千九百八十八人、小人千百七十一人計一萬百五十九人(世界館)大人八千六百九十一人、小人千七十三人、計九千七百六十四名(合計)者は相當頭を痛めて居る

舊盆前の要救濟者
五十戸二百六十名
平共濟會で調査

平共濟會では今年も亦舊盆前の極貧者を救濟する事となり町會議事堂で詳細な打合なり既に役場吏員と協力調査を行ふ事となつたが大体

傳染病減少
前年との比較對照

平署管内今年一月以降今九日迄と昨年同期の傳染病發生件數は

種別	六年	七年
腸チフス	六四	四二
パラチフス	四	六
赤痢	一九	一一

貝泊地内
國有林伐採
救濟目的で着手

植田營林署では此程貝泊村平町紺屋町大和田仲治君は家族六名を連れ今九日午前七時五分平驛發で南米ブラジルへ旅立つた

一家六名
ブラジルへ
紺屋町の大和田君

豐間港
修築工事續行申請
近く大擧出福

豐間村に於ける工費二十萬圓の漁港修築工事續行に就ては既報の如く過般鈴木村長、馬目組合長等出縣補助申請をなしたが更に縣會の開會を前にして大擧出福最後的の猛運動を起す事となつた

入遠野村救濟陳情
赤坂縣議ら來平

入遠野村では此程百餘名の有志會を開き其節に對し次回の農山村救濟縣土木工事により當面の救濟方を出願すべく決議し今九日赤坂縣議外有志二十名は平土木監督所に出頭し詳細に第狀を認へて陳情する處あつた

米價落調
大浦農倉取引況

大浦農業倉庫に於ける去月五日以降去五日迄の四等米標準値は

七月五日—八圓五十錢、十五日—八圓三十六錢、二十一日—八圓十五錢、二十五日—八圓、八月五日—七圓七十五錢

で引續き漸落を辿つてゐる

勞役場換刑希望出でん
檢事局の罰金整理

平檢事局では既報の如く罰金未納者に對し過般來大童で整理を急いだ結果今月初整理着手當時の四千五百圓が昨今三千五百七十七圓九十名に減じ殘餘に對しては財産差押へ其他夫々處分を斷行するが時節柄一日一圓の換刑處分を希望する者も二三十名に及ぶではないかと氣遣はれてゐる

窃盗男訊問
浮浪の佐藤政記

磐崎村大字長孫字三反田箱崎權之丞外八ヶ所から衣類、雜品五十九點(價格二百十四圓)を窃取し今九日午前十時平區に於て拘留訊問を行つた。

平第一臨海學校通信
(六日)第六信

尋安齊五ノ光三組

今日は朝からよかつた。その時に大人の人いい天氣だ。五時がおぼれたといふのを聞いて起床し顔を洗ったので海に入るのが恐ろしくなつて來た、又寫眞をとつてもらつたので、今日は二枚とつたわけだ。歸りがけにお父さんに會つた、そして湯に入り夕食をたべた夕食はライスカレーなのでとてもおいしかつた。

尋五ノ三組　伊關太郎

今朝は朝早く起き窓から空をながめた。夕べのニュースでは今朝荒れるといふのだつたがお天氣が良かつた僕はハッと波立へ行くと言ふことを思ひ出した。床に入つて小齋君が僕の枕見ると　をしてゐる、先生がその時『起床』といつたら。今日は朝の行事がたまらなくゆくわいだつた。朝飯をも食べ、いよ〳〵波立へ向つた。途中には大變危い所もあつたけれども皆元氣だつた。參拜をすまし鰐ケ淵　ごう〳〵と水音を見た　大波がものすごく岩にぶつかつたとおもふと、水しぶきをあげて又去つて行く目が廻りさうだ。しばらく見て居たが下りて來て寫眞をとつてもらつた歸りは小石が熱けてゐて足が燒けそうだ、フト沖を見ると

白帆が　浮かんでゐた。

點々と　舍へ歸り晝飯を食べた、つかれてゐたせいか大變うまかつた、二時間ばかり晝寢をして後、又海に入つてゐる時、大人の人が溺れたといふことを聞いて、なんだか海が恐しくなつてしまつた。そして又寫眞をとつてもらつた。

今は皆　つてゐる、僕は湯に行　夕飯がまち遠しい、今日のお菜はライスカレーだ。

其から其と手を出し却て辛勞を增すべき日▲六白の人　大望を起さず急功を欲せず蓄實なれば安全▲七赤の人　じ由なる活動を遂げ慾望の滿足を得べき日▲八白の人　繁昌を極む▲九紫の人　不得手の事に手を出さず人の誘惑を避けよ

救濟陳情
入遠野村

ルンペン二人　朝鮮仁川四倉署に縋る　府加兵利四七一趙斗三(三三)群馬縣前橋市の家一三五坂本武男(一九)の兩名は働き口を捜す爲去る五日東京出發徒歩に て沿線各署より食費を仰ぎ乍ら昨八日午後三時四倉署に辿りつき若干を恵まれて双葉方面に立ち去つた

窃盗男訊問
浮浪の佐藤政記

磐崎村大字長孫字三反田箱崎權之丞外八ヶ所から衣類、雜品五十九點(價格二百十四圓)を窃取し今九日午前十時平區に於て拘留訊問を行つた。

平町
助成會でも
救濟の打合會

平町助成會も同樣貧困五十戸約二百名に對し給與すべく同日午前九時から會議室に於て委員會を開催し同瀾會の引繼白七十圓を承認し惠與物に就て種々打合せをなすと

平町のトラック
旅先で聾婆を轢く
徐行中を立ち塞がれて

平町四丁目鈴木與一方自動車運轉手文間勇が七日午前九時十五分頃トラックを運轉茨城縣那珂郡佐野村大字高野地内を疾走中同所助川二、井上佳都美　計時—渡邊恒夫、高木愛次、熊谷保高　記錄—門馬猛監察—櫻井榮次、矢代常好、小林清海、横田瀧藏新家芳美　二、フキールド主任—永島磯惣太　跳投審判—田子泰作、野原忠見　記錄—林又左工衛三、召集—瓜田壽、草野光司、外磐中生若干　四通告—水竹仁、外磐中生若干(劍道部)部長—庄司政之、審判係長—十二所常衛　係—藁谷久太郎(柔道部)部長—橋本芳太郎　審判長—高清水勇助係—鈴木寅之丞(相撲部)部長審判係長—青天目源一郎　係—小菅榮之助　以上

の右側を徐行せんとした際因に右計劃に對しては一週間後兒童の感想及び雇主から見た兒童の勤務狀態等を取纏め大に向後の參考に資する筈である

若松騎兵中佐
大佐に進級榮轉

今次の日支事變で滿蒙の野に勇名を馳せた本郡赤井村出身騎兵中佐若松晴司氏は今回の陸軍進級大異動により大佐に進級騎兵第二聯隊長から騎兵學校教導隊長に榮轉した

東北最初の晝夜銀行
前七七平支店長
山田宮銀專務其後の活躍

前七十七銀行平支店長山田勇太郎氏が入つて專務取締役に就任した仙臺市宮城銀行では既報の通り愈々來十二日より東一番町田張所を増設開業する事となつたが同所は東北最初の晝夜銀行として午後八時迄業務を取扱ひ尚ほ小口金融殊に俸給生活者に對する小口信用月賦償還の金融を取扱ふと

安價に名映畫を
無理なフアンの註文に
活動常設經營者の惱み

娯樂界の王座を占むる映畫館去月中の入場者人員を聞くと一萬九千九百二十三人で不景氣の割合には案外の入りを見せてゐるが好況時代に比較してはテンでお話らしく附近の叢に厭世的なる遺書二通あつた、尚之が爲め同列車は約十分間遲延したと

(平館)大人八千九百八十八人、小人千百七十一人計一萬百五十九人(世界館)大人八千六百九十一人、小人千七十三人、計九千七百六十四名(合計)者は相當頭を痛めて居る

舊盆前の要救濟者
五十戸二百六十名
平共濟會で調査

平共濟會では今年も亦舊盆前の極貧者を救濟する事となり町會議事堂で詳細な打合なり既に役場吏員と協力調査を行ふ事となつたが大体

傳染病減少
前年との比較對照

平署管内今年一月以降今九日迄と昨年同期の傳染病發生件數は

種別	六年	七年
腸チフス	六四	四二
パラチフス	四	六
赤痢	一九	一一

貝泊地内
國有林伐採
救濟目的で着手

植田營林署では此程貝泊村平町紺屋町大和田仲治君は家族六名を連れ今九日午前七時五分平驛發で南米ブラジルへ旅立つた

一家六名
ブラジルへ
紺屋町の大和田君

豐間港
修築工事續行申請
近く大擧出福

豐間村に於ける工費二十萬圓の漁港修築工事續行に就ては既報の如く過般鈴木村長、馬目組合長等出縣補助申請をなしたが更に縣會の開會を前にして大擧出福最後的の猛運動を起す事となつた

入遠野村救濟陳情
赤坂縣議ら來平

入遠野村では此程百餘名の有志會を開き其節に對し次回の農山村救濟縣土木工事により當面の救濟方を出願すべく決議し今九日赤坂縣議外有志二十名は平土木監督所に出頭し詳細に第狀を認へて陳情する處あつた

米價落調
大浦農倉取引況

大浦農業倉庫に於ける去月五日以降去五日迄の四等米標準値は

七月五日—八圓五十錢、十五日—八圓三十六錢、二十一日—八圓十五錢、二十五日—八圓、八月五日—七圓七十五錢

で引續き漸落を辿つてゐる

勞役場換刑希望出でん
檢事局の罰金整理

平檢事局では既報の如く罰金未納者に對し過般來大童で整理を急いだ結果今月初整理着手當時の四千五百圓が昨今三千五百七十七圓九十名に減じ殘餘に對しては財産差押へ其他夫々處分を斷行するが時節柄一日一圓の換刑處分を希望する者も二三十名に及ぶではないかと氣遣はれてゐる

窃盗男訊問
浮浪の佐藤政記

磐崎村大字長孫字三反田箱崎權之丞外八ヶ所から衣類、雜品五十九點(價格二百十四圓)を窃取し今九日午前十時平區に於て拘留訊問を行つた。

平第一臨海學校通信
(六日)第六信

尋安齊五ノ光三組

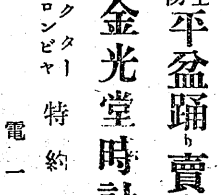
今日は朝からよかつた。その時に大人の人いい天氣だ。五時がおぼれたといふのを聞いて起床し顔を洗ったので海に入るのが恐ろしくなつて來た、又寫眞をとつてもらつたので、今日は二枚とつたわけだ。歸りがけにお父さんに會つた、そして湯に入り夕食をたべた夕食はライスカレーなのでとてもおいしかつた。

尋五ノ三組　伊關太郎

今朝は朝早く起き窓から空をながめた。夕べのニュースでは今朝荒れるといふの

其から其と手を出し却て辛勞を增すべき日▲六白の人　大望を起さず急功を欲せず蓄實なれば安全▲七赤の人　じ由なる活動を遂げ慾望の滿足を得べき日▲八白の人　繁昌を極む▲九紫の人　不得手の事に手を出さず人の誘惑を避けよ

ルンペン二人　朝鮮仁川四倉署に縋る　府加兵利四七一趙斗三(三三)群馬縣前橋市の家一三五坂本武男(一九)の兩名は働き口を捜す爲去る五日東京出發徒歩にて沿線各署より食費を仰ぎ乍ら昨八日午後三時四倉署に辿りつき若干を恵まれて双葉方面に立ち去つた



ミシン　ガンシ
移轉披露
從來平町一丁目にて營業致し居候處今般左記へ移轉仕候
平町田町四五田町大通り
シンガー裁縫機械會社
シンガー裁縫女學院
シンガーミシン月賦と現金販賣
見切格安品中古賣買紹介
針、油、カタン糸、附屬品一式
ミシン裁縫一般生徒募集

タクシーの御用命は
是非…尼子タクシーへ
親切第一を主義と致して居ります
安全
電六四〇番
主任　澤資之(正路改)

郷土名物平盆踊り賣出し
ビクター　コロンビヤ　特約店
金光堂時計店
電一九五